

今年の夏も猛暑予報!! 暑熱対策の点検を

今年の夏の予報?

◆気象庁の3か月(7~9月)予報によると、日本付近は暖かい空気に覆われやすいため気温が平年より高い見込みです。特に梅雨明け後は厳しい暑さとなる日が多いため、熱中症に警戒が必要です。



今年も牛にとって過酷な夏?

◆乳牛の最適温度は、4~20℃、肥育牛は10~20℃であり、限界温度はホルスタインで27℃前後、和牛で32℃で、それ以上になると乳量や乳成分減少、発育停滞、各種の疾病を併発、繁殖成績が悪化します。

暑熱対策は?

- ◆ 扇風機で風を送るときは、首から肩にしっかりと風が当たるようにする。
- ◆ 牛舎周辺の草を刈り、風通しをよくする。
- ◆ 暑熱ストレス下ではビタミンAの消費量が増える。特に肥育牛では欠乏症に注意する。
- ◆ 屋根の散水や白く塗るなど、牛舎内の気温を下げる。
- ◆ 常に新鮮で冷たい水がたっぷり飲めるようにする。
- ◆ 給餌は涼しい時間帯に、また給与回数を増やして採食量低下に対処する。



熱射病かなと思ったら・・・!

◆気温の高い日に口を開けて速い呼吸をし、大量のよだれを流す牛がいたら、熱射病かもしれません。すぐに獣医師に連絡し、下記の応急処置を行いましょう。

- ①頭部以外の全身に20~30分以上水をかける。
- ②十分に水を飲ませる。
- ③扇風機で風を当てる。



台風、豪雨に備えましょう!

- ◆ 畜産施設は、事前に損傷、倒壊等为了避免するため、必要に応じて補修を行う。
- ◆ 畜産施設への浸水を避けるため、明渠の施工等により排水対策を行う。
- ◆ 家畜への被害が生じるおそれがある場合は、事前に避難場所を確認し、状況に応じて家畜を避難させる等の適切な処置を行う。
- ◆ 停電や断水等の対応を確認し、被災時には自家発電機による搾乳や生乳冷却等について、早急に対応できるよう努める。

* 牛の異常や畜産施設に災害があったら直ちに当所まで連絡してください。

京都府南丹家畜保健衛生所

南丹市八木町木原北東庄18 TEL:0771-42-3308 FAX:0771-42-5117